

CASBEE 新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	(仮称)アルフレッサ(株)新潟事業所新築工事	
建設地	新潟県新潟市西区北場字下田割1098-1の一部 他16筆	
用途地域	都市計画区域、市街化区域、法第22条区域、準工業地域	
建物用途	事務所,工場,	
竣工年	2024年11月 予定	
敷地面積	5,230.00 m ²	
建築面積	1,603.99 m ²	
延床面積	2,568.75 m ²	
階数	地上2F、地下0F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2023年11月16日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{38.4}{35.6} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に 使い続けるために	平均スコア 2.3		バリアフリー計画 維持管理 設備の更新性	Q2.1.1.3 Q2.1.3 Q2.3.3	1.0 3.0 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 3.0		耐震・免震・制震・制振 信頼性	Q2.2.1 Q2.2.4	3.0 3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 4.0		建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用	LR1.1 LR1.2	5.0 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 3.0		節水 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.1.1 LR2.2.4 LR2.2.6	1.0 3.0 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上	Q3.1 Q3.3.2	1.0 3.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 2.0		まちなみ・景観への配慮 地域性への配慮、快適性の向上	Q3.2 Q3.3.1	2.0 2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

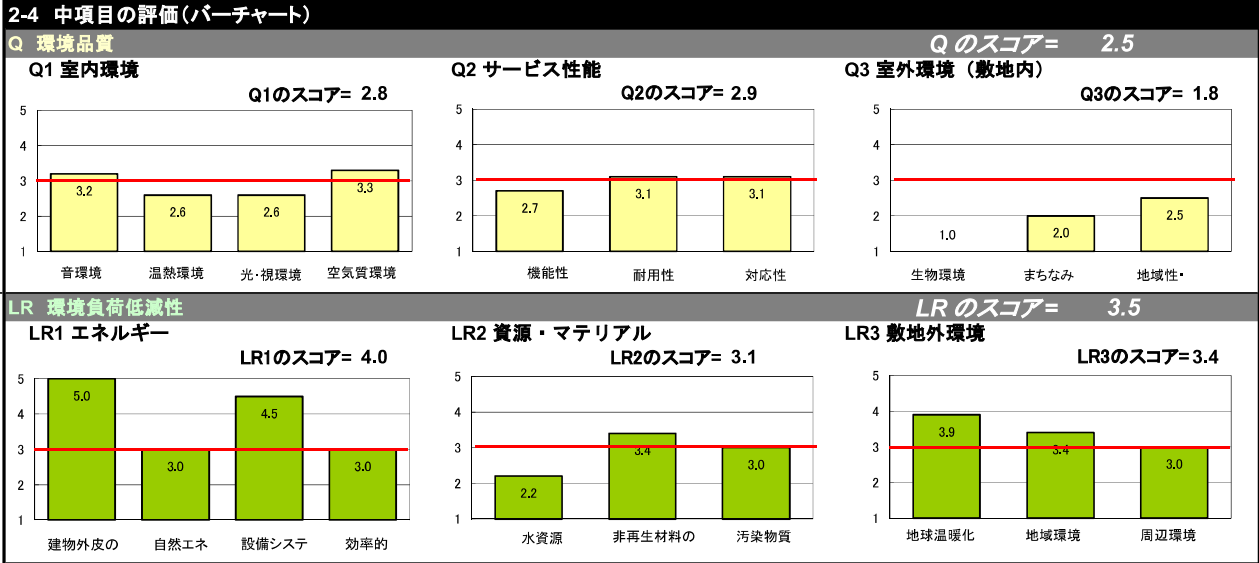
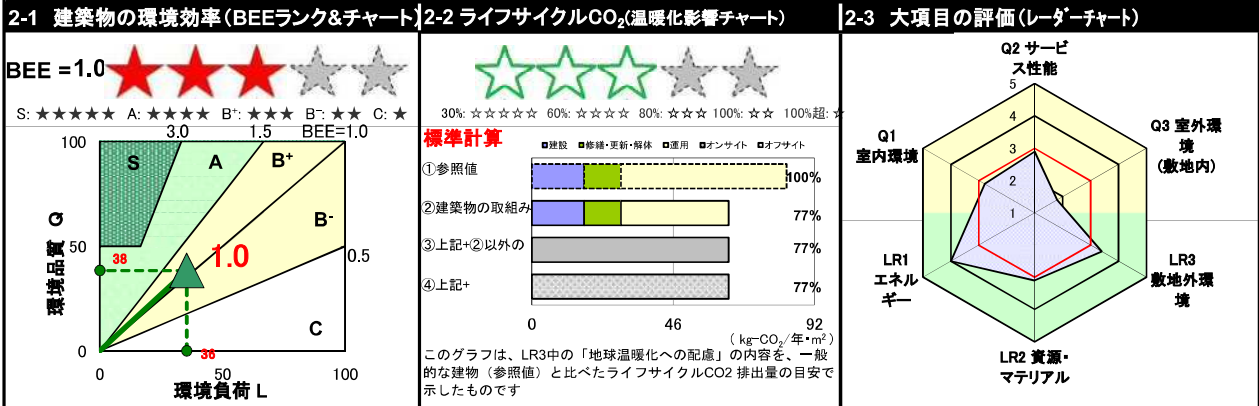
新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

CASBEE[®] 新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築) 2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

評価結果

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)アルフレッサ(株)新潟事業所新築工事	階数		
建設地	新潟県新潟市西区北堀字下田割1088-1の一部 他16筆	構造		
用途地域	都市計画区域、市街化区域、法第22条区域、準工業地域	平均居住人員		
地域区分	5地域	年間使用時間		
建物用途	事務所・工場	評価の段階		
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日		
敷地面積	5,230 m ²	作成者		
建築面積	1,604 m ²	確認日		
延床面積	2,569 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項			その他
総合 建物外皮の熱負荷低減に努めている。			—
Q1 室内環境 すべての建材をF☆☆☆☆としている。	Q2 サービス性能 耐用年数40年以上の配管を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により、良好な景観を形成している。	
LR1 エネルギー [BPI _m]=0.61 [BEI _m]=0.65	LR2 資源・マテリアル LGS地下、OAフロアを採用している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用していない。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される